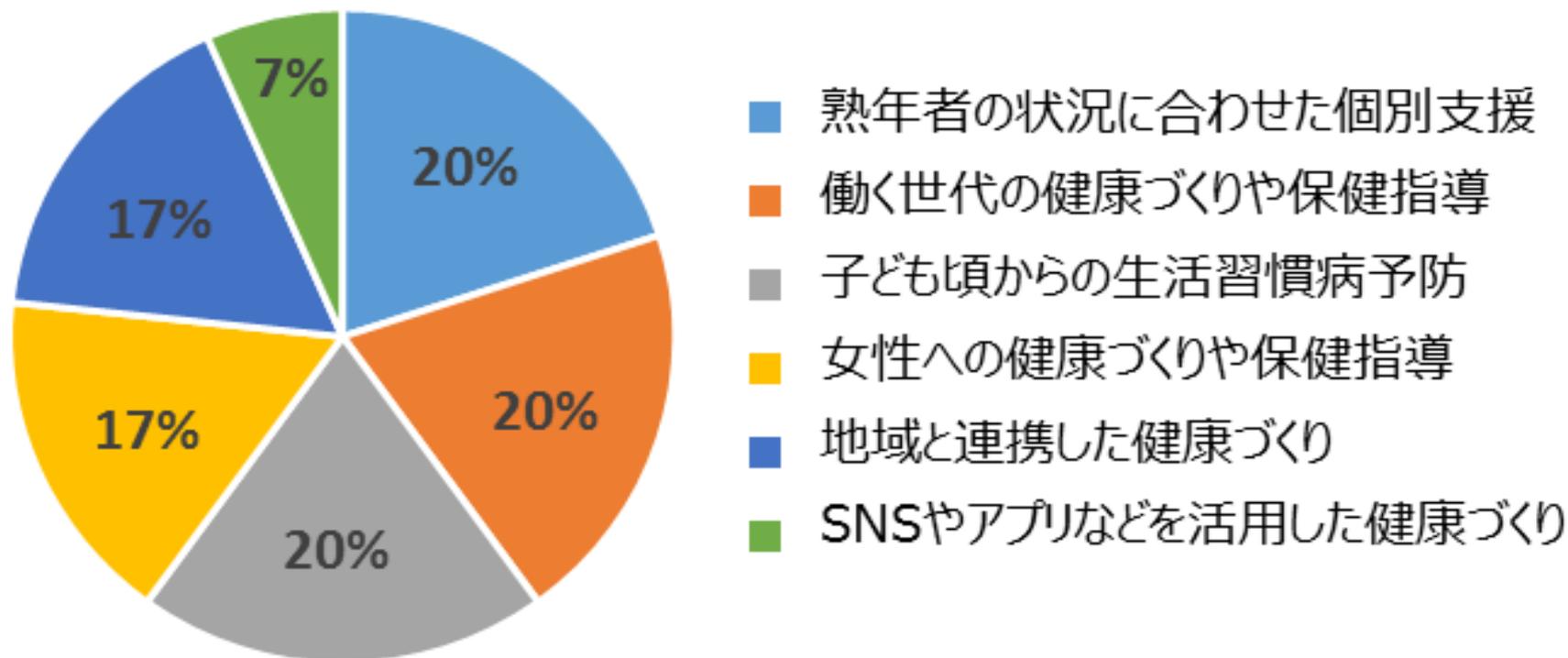


令和2年度 江戸川区健康づくり推進協議会 アンケート結果

(1) 国保健診・長寿健診の結果等について

今後、推進すべき取り組みは何だと考えますか。



【その他の意見】

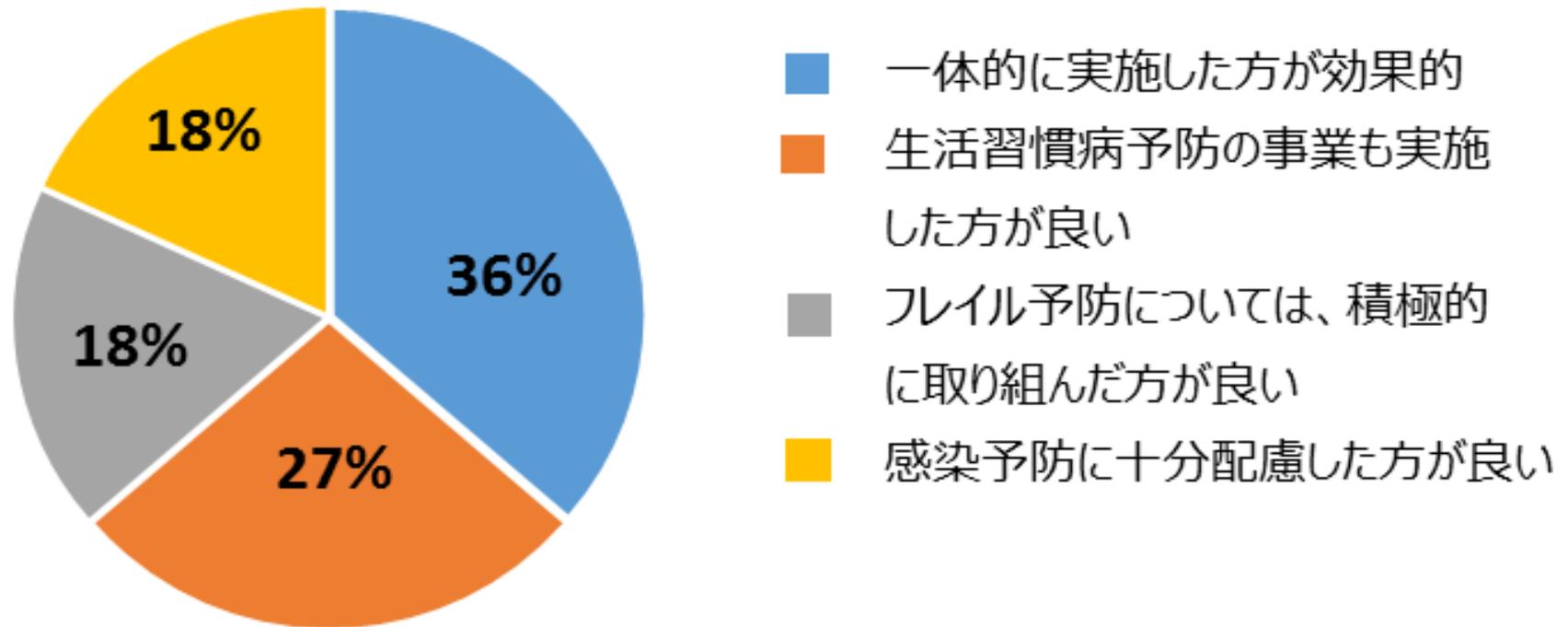
○死亡比では江戸川区は心疾患、肺がんが多く、国保の問診から喫煙者が多い。

他区と比べて特に路上喫煙対策が不十分であり、改善が必要

○口腔機能の低下予防の推進

(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

本事業に対する感想・ご意見を選択または、記入してください。



【その他の意見】

○認知症の早期発見、医療・介護をつなげる事業を積極的に取り上げることも大切

○フレイル予防はお口の機能維持が大切です。介護予防、寝たきり予防に「江戸川歯つらつチェック」を受けましょう。

(3) 健康づくりの取り組みについて

今年度、コロナ禍で工夫して実施した取り組み等がありましたら、記入ください。

(代表的な内容を記載させていただきました)

- 各種健診及びその後の生活指導について感染予防に留意して実施しました。
- 令和元年より歯科医師会・学校歯科医会が協力して始めた健口歯ブラシ事業を今後この状況が落ち着いたら児童・生徒の歯に対する興味・関心を高めるように取り組んでいきたいと思えます。
- 今年度は区民健康講座も中止し、「健康づくり」を「命を守る」形へとシフトした1年だった。今後は状況に応じた取り組みができるように検討していきたい。
- 第9回「くすりの正しい使い方ポスター展」において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は中止とし、展示会のみ行った。
- 江戸川区食品衛生協会では、年に数回、組合員の健康づくりに関する資料を配布し、周知を行っている。
- ファミリーヘルス推進員が発行する「ファミヘル通信」を活用して情報発信を行った。